

支部学術集会開催報告

第10回沖縄県支部学術集会

学術集会会長：中部徳洲会病院病院長 伊波 潔

2020年1月18日(土)中部徳洲会病院において第10回日本医療マネジメント学会沖縄県支部学術集会を開催しました。

メインテーマは「2025年に向けた医療マネジメント地域のニーズに応える医療の新たな質向上を目指して」としまして、208名の参加を頂きました。

特別講演Ⅰでは、一般社団法人徳洲会 海老澤 健太先生より「JCI認証取得について」と題し講演をいただき、特別講演Ⅱでは、一般社団法人日本血液製剤機構 谷澤 正明先生より「2020年度診療報酬改定の動向」と題し講演していただきました。

パネルディスカッションでは、5医療機関の医師の働き方について講演していただきました。

一般口演5演題、ポスターセッション20演題の発表がありました。

様々な立場から地域医療における取り組みをご発表いただき、活発な意見交換と有益な情報共有ができたと感じております。

最後に、本学術集会開催にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。

第9回群馬県支部学術集会

学術集会会長：多野藤岡医療事務市町村組合

公立藤岡総合病院病院長 塚田 義人

2020年1月26日(日)、藤岡市みかぼみらい館において「医療・介護・福祉の連携推進～住み慣れた地域で支える多職種連携～」をメインテーマに第9回群馬県支部学術集会を開催いたしました。

特別講演では在宅医療に精力的に携わっておられる、あい太田クリニック野末 睦先生と医療制度・診療報酬に精通しておられる日本血液製剤機構の谷澤 正明先生にご講演いただきました。シンポジウムでは高崎健康福祉大学の棚橋 さつき先生による基調講演とシンポジスト6名の先生にご登壇いただきました。

一般演題では、経営・管理、医療安全・感染対策、医療の質、地域医療・介護・福祉の連携のテーマのもとに口演20題、ポスター展示14題のご発表をいただきました。

当日は医師、看護師、薬剤師、事務職、学生など、多職種275名がご参加くださり、それぞれの視点から活発にご討議いただきました。

皆様のご協力をおもひまして無事開催できましたこと、厚く御礼申し上げます。

第15回奈良支部学術集会

学術集会会長：国保中央病院院長 阪井 利幸

2020年2月1日(土)奈良県社会福祉総合センターにおいて、日本医療マネジメント学会第15回奈良支部学術集会を開催しました。大型台風による医療機関への被害や南海トラフ地震の発生リスクが高まり、災害医療やBCP(業務継続計画)作成が注目される中、今学術集会では「次世代へつなぐ医療～災害に強い病院をめざして～」を学術集会テーマとし、基調講演として災害医療の中心的役割を担う兵庫県災害医療センターセンター長の中山伸一先生から「災害時の医療マネジメントについて考える」と題し、御講演をいただきました。

その他、BCPに関するシンポジウム、教育講演、ランチョンセミナー2題、一般演題として口演52題、ポスター40題では活発な討論が行われ大変有意義な学術集会であったと思います。また、学術集会全体に約450名の参加を頂きました。

本学術集会の開催にあたり、ご支援・ご協力をいただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

第15回和歌山支部学術集会

学術集会会長：新宮市立医療センター院長 中井 三量

2020年2月8日(土)に和歌山県立情報交流センター(Big・U)を会場として、日本医療



会場風景

マネジメント学会第15回和歌山支部学術集会を開催いたしました。当日は、県内全域から178名のご参加をいただくことができました。

今回は「安心・円滑な地域医療を目指して」をメインテーマとして、特別講演、ランチョンセミナー、一般演題発表(口演29題、ポスター21題)が行われました。

特別講師として2名の先生方をお招きし、ランチョンセミナーでは、「その人らしく生きるために～ホームホスピスの提案～」と題して、認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎理事長 市原美穂先生に、また特別講演では「未来の病院マネジメントは次世代人材育成：リーダーシップとフォロワーシップ」と題して、畑